【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成20年5月15日(2008.5.15)

【公開番号】特開2007-203014(P2007-203014A)
【公開日】平成19年8月16日(2007.8.16)
【年通号数】公開・登録公報2007-031
【出願番号】特願2006-55481(P2006-55481)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｇ　7/05　(2006.01)
Ａ４７Ｃ　17/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｇ　7/04
Ａ４７Ｃ　17/04　C

【手続補正書】
【提出日】平成20年2月27日(2008.2.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
就寝時の身体と直角方向にベッドの面材の幅を狭くし、面材の両端付近の下部に面材と直角方向に水平に長い回転軸を一対設け、面材のガイドとなるツバを設けた糸巻き形状の中心穴を偏芯させたツバ付偏芯カムを、取り付け角度を一方は時計方向に他方は反時計方向に同一角度で合わせて、各回転軸に一対ずつ固定し、隣り合うツバ付偏芯カムの相対角度を一定角度で連続的に変化させて、回転軸全体に間隔を狭めて複数取り付けて、相対する全てのツバ付偏芯カムに面材を乗せ、各回転軸を電動機で各々反対方向に回転させて、面材全体が身体の頭からつま先の方向にゆっくりとした小さい波のように動くベッド。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００４】
就寝時の身体と直角方向にベッドの面材の幅を狭くし、面材の両端付近の下部に面材と直角方向に水平に長い回転軸を一対設け、面材のガイドとなるツバを設けた糸巻き形状の中心穴を偏芯させたツバ付偏芯カムを、取り付け角度を一方は時計方向に他方は反時計方向に同一角度で合わせて、各回転軸に一対ずつ固定し、隣り合うツバ付偏芯カムの相対角度を一定角度で連続的に変化させて、回転軸全体に間隔を狭めて複数取り付けて、相対する全てのツバ付偏芯カムに面材を乗せ、各回転軸を電動機で各々反対方向に回転させて、面材全体が身体の頭からつま先の方向にゆっくりとした小さい波のように動くベッド。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】

尚、図１に示されるように、面材（４）に下面ローラーを取り付け

以下、本発明の実施の形態について説明する。

（イ）ベッドの前板（１）と後板（２）になる長方形の一対の板の左右両端の内側に各々上下２箇所に貫通ねじ穴（６ａ・６ｂ）を設ける。

（ロ）ベッドの一対の側板（３ａ・３ｂ）の両端小口面の上下に各々２箇所のねじ穴（７・８）を設ける。

（ハ）前板（１）の貫通ねじ穴（６ａ）と側板（３ａ）のねじ穴（７）をねじＡ（５）で上下２箇所連結する。同一方法で前板（１）の貫通ねじ穴（６ｂ）と側板（３ｂ）のねじ穴（８）を連結する。

（ニ）回転軸減速機（２２）と連結した回転軸（１１ａ）にツバ付偏芯カム（１０ａ）の貫通穴（１８）を通して反時計回転方向に一定角度で連続的に変化させて固定したツバ付偏芯カム（１０ａ）を複数設け、ツバ付偏芯カム（１０ａ）に対向するツバ付偏芯カム（１０ｂ）を回転軸（１１ｂ）に時計回転方向に同一角度ずつずらして同数設ける。

（ホ）回転軸（１１ａ・１１ｂ）に各々同数のツバ付偏芯カム（１０ａ・１０ｂ）を取り付けた後、連結軸受板（１２）の軸受穴（２４ａ・２４ｂ）を各々回転軸（１１ａ・１１ｂ）に通して、側板（３ａ）の貫通ねじ穴（１３）と連結軸受板（１２）のねじ穴（１５ａ）をねじＢ（１６）で連結し、同一方法で側板（３ｂ）の貫通ねじ穴（１４）と連結軸受板（１２）のねじ穴（１５ｂ）を連結する。

（ヘ）回転軸（１１ａ・１１ｂ）に各々同数のツバ付偏芯カム（１０ａ・１０ｂ）と連結軸受板（１２）を交互に取り付けることを繰り返して、面材取り付け部全体に設ける。

（ト）前板（１）と側板（３ａ・３ｂ）を連結する方法と同一方法で後板（２）と側板（３ａ・３ｂ）を連結する。

（チ）面材（４）の突片（９ａ）下のローラー（１７）をツバ付偏芯カム（１０ａ）のツバ（１９ａ・１９ｂ）の内側に挿入し、ドラム本体（２０）にローラー（１７）を密着する。面材（４）の突片（９ｂ）側も同様にツバ付偏芯カム（１０ｂ）に密着し、面材取り付け部全体に設けた全てのツバ付偏芯カム上に同一方法で面材（４）を取り付ける。

尚、図１に示されるように、面材（４）に下面ローラーを取り付けないものも可能である。

（リ）回転軸減速機（２２）のプーリ（２５ｂ）と回転軸（１１ａ）のプーリ（２５ａ）をタイミングベルト（２３）で連結する。

本発明は、以上の構成よりなっている。

本発明を使用するときは、身体の臀部にあたる部分のツバ付偏芯カム（１０ａ・１０ｂ）の直径を少し小さくて、就寝時に腰が受ける歪曲荷重を減らし、取り付けた面材（４）全体に薄目の敷物を敷いて、その上に仰向けになり、調速減速機付電動機（２１）に電源を入れると、個々の面材が波のような動きをするので、好みの速さに設定して就寝する。